

EA991CR-8(オイルポンプ[エアー・手動兼用])取扱説明書

Ver.1.0

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。



注意: 事故、けが等を未然に防ぐ為に、ご使用前に必ず読み、理解し、厳守して下さい。

機器に異常はないか、確認して下さい。

作業工具は注意深く手入れをして下さい。

エアーホース、接続部等は損傷していないか、その他定期的に点検して下さい。

ハンドルは常に乾かし、きれいな状態を保って下さい。

次の場合はバルブを閉め、エアーホースを外して下さい。

①機器を取り付ける時。

②作業終了時。

③異常を感じた時。

エアー工具を使用する時は、取扱方法、作業方法、周りの状況を十分に把握して、慎重に作業して下さい。

作業前に、可動部の位置、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常や損傷がないか確認してください。

○騒音について

ご使用中、周囲に迷惑を掛けないよう、各都道府県等で定める騒音規則値以下で使用して下さい。
必要に応じて、防音壁等で遮音処置をとって下さい。

○特長

- 空圧吸入なので、火花が発生しません。
- エンジンオイル、ギアオイル、ブレーキオイル、水などにご使用頂けます。
- 負圧を開放する減圧バルブ付。
- エアー、手動の両方で使えるオイルポンプ。

○仕様

- 容量…9ℓ
- 使用空気圧…0.48～1.17MPa
- エアー消費量…140ℓ/min
- サイズ…320(W)×220(D)×610(H)mm
- 重量…3.9kg
- 付属品…
 1. 1m吸入プローブ(φ6mm・φ10mm)、
 1. 1m吸入ホース(φ8mm)

○各部名称



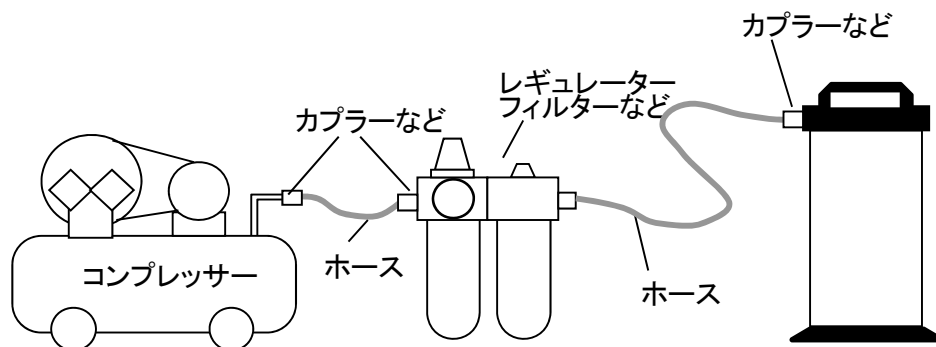
○使用する前に次の手順を実行して下さい。

ハンドポンプ(1)のクイックカプラー(2)からエアースニップル(3)を抜き、エアースニップル(3)にシールテープを巻きエアバルブ(4)に固定して下さい。



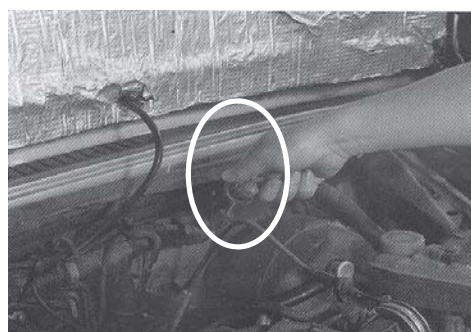
注意 本器を使用してエンジンオイルを抜くときは、まず先に自動車水平である事、そしてエンジンを5分間暖気運転して下さい。

○取付例

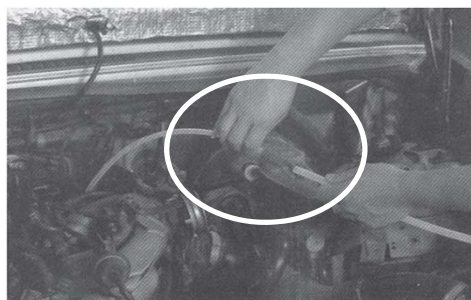


○使用方法(エアークンプレッサー使用)

1. エンジンからオイルレベルゲージを抜く。



2. オイルレベルゲージ穴よりエキストラクトチューブ(5)をオイルパンの底に着くまで入れる。
サクシジョンチューブ(6)の接続ゴム側をインレットカプラ(7)に接続し、逆側をエキストラクトチューブ(5)(右画像参照)に接続する。



3. エアバルブ(4)は”Closed(閉)”の位置にして下さい。

4. コンプレッサーからのエアースニップルをエアースニップル(3)に接続する。

5. コンプレッサーを作動し、エアースニップル(4)を”Open(開)”の位置にした後、プッシュボタン(8)を押すと本器が始動します。



6. 液体がタンクの”Full(満杯)”の位置になると自動的に停止します。

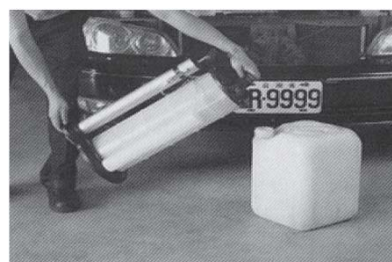
6-1. 抜き取った液体が自動停止位置まで届かない時は、エアバルブ(4)を”Closed(閉)”にして止めて下さい。



7. エアホース(9)を外し、サクシジョンチューブ(6)も外す。インレットカプラー(7)を抜き、タンクからオイルを排出して、適切な容器に入れ処理をして下さい。



排出口 (7) インレットカプラー



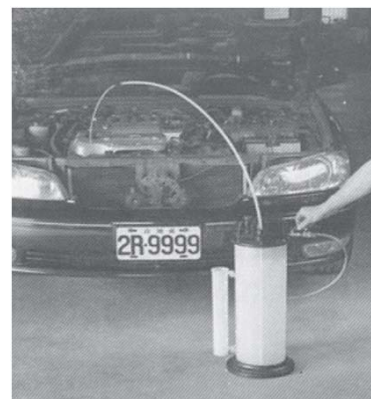
○使用方法(ハンドポンプ使用)

※1~3の手順についてはコンプレッサー使用時と共通です。
(2頁目を参照してください。)

4. ハンドポンプ(1)からのエアホースのクイックカプラー(2)をエアニップル(3)に接続する。



5. エアバルブ(4)を”Open(開)”の位置にして、プッシュボタン(8)を押す。



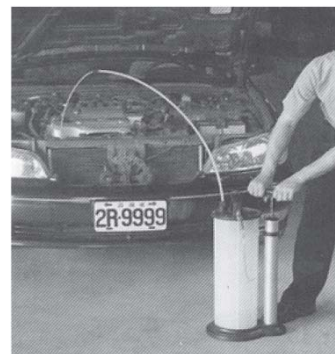
6. ハンドル(10)(※1参照)を上下ポンピングを繰り返して下さい。本器が始動します。

7. 液体がタンクの”Full(満杯)”になると自動的に停止し、ハンドルがロックされます。

7-1. 抜き取った液体が自動停止位置まで届かない時は、エアバルブ(4)を”Closed(閉)”にして止めて下さい。

8. ハンドポンプ(1)のサイドにあるリリースボタン(11)を押し、ハンドルを下に押しとロックが解除されます。

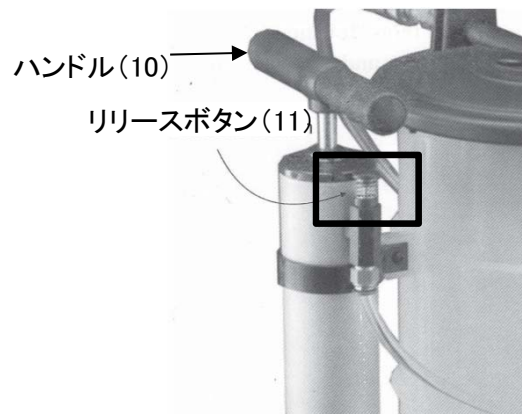
9 エアホース(9)を外し、サクシオンチューブ(6)も外す。インレットカプラー(7)を抜き、タンクからオイルを排出して、適切な容器に入れ処理して下さい。



(※1)



排出口 (7)インレットカプラー



ハンドル(10)

リリースボタン(11)

○ トラブルガイド

No.	症状	処置
1	エアバルブを”Open”の位置にし、プッシュボタンを押しても、本器が始動しない。	ハンドル上部にある青いボタンを押して下さい。クリック音が聞こえたら正常です。もし聞こえなかったら異常です。液体がない時は本体を上下逆にし、液体がある時は本体を45°傾けて数回振り、ボタンを押してクリック音が聞こえたら正常です。
2	エアバルブを”Open”の位置にし、プッシュボタンを押しても、本器が始動しない。	使用中に内部部分の潤滑を良くする事です。まずクイックカプラーを外し、オイルをポンプに入れ、クイックカプラーをつなぐとエアが本体内部にオイルを付着させます。
3	液体がタンクの”Full”の位置に届いても自動的に停止しない。	エアバルブを閉め、作業を中止し、液体を排出させ、処理1、2を行って下さい。
4	作業中にそれ以上液体を吸う事ができない。	チューブがしっかりと取り付けられているか調べる。液体が空ではないか、タンク内の液体が”Full”に届いてないか調べる。



改造はしないでください。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業行程に支障を来たす場合があります。